

# 野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース） 年2回決算型

## 償還運用報告書(全体版)

第30期（償還日2024年4月22日）

作成対象期間（2023年10月24日～2024年4月22日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。  
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	2009年4月23日から2024年4月22日までの期間です。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主な投資対象	野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年2回決算型	ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年2回決算型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行ないません。
	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、配当等収益等および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないません。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 込 配 金	騰 落 率				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
26期(2022年4月22日)	37,585	10	4.4	0.5	—	97.0	14
27期(2022年10月24日)	35,840	10	△ 4.6	0.5	—	97.3	12
28期(2023年4月24日)	35,928	10	0.3	0.2	—	97.3	11
29期(2023年10月23日)	42,011	10	17.0	0.1	—	97.6	13
(償還時)	(償還価額)						
30期(2024年4月22日)	55,089.65	—	31.1	—	—	—	15

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円 銭	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	率			
(期首)	円 銭	%	%	%	%	%
2023年10月23日	42,011	—	0.1	—	97.6	
10月末	41,892	△ 0.3	0.1	—	97.6	
11月末	44,646	6.3	0.1	—	97.5	
12月末	42,849	2.0	0.1	—	97.9	
2024年1月末	47,036	12.0	0.0	—	98.1	
2月末	50,532	20.3	0.0	—	98.0	
3月末	53,575	27.5	0.1	—	97.9	
(償還時)	(償還価額)					
2024年4月22日	55,089.65	31.1	—	—	—	

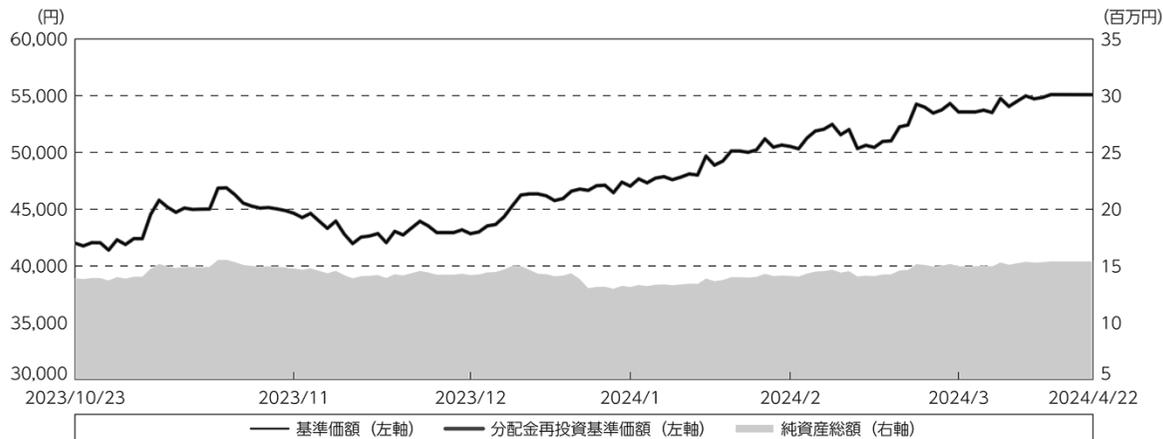
\* 騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首： 42,011円

期末(償還日)：55,089円65銭 (既払分配金(税込み)：-円)

騰 落 率： 31.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年10月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の変動要因

- ・ 実質的に投資している国内株式(日本ブランド株)からのインカムゲイン(配当収入)
- ・ 実質的に投資している国内株式(日本ブランド株)からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)
- ・ 為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)
- ・ 円/南アフリカランドの為替変動

## ○投資環境

### <国内株式市場>

#### 当作成期首～2024年1月下旬：

- （上昇）10月の米雇用統計や米CPI（消費者物価指数）の伸び率が市場予想を下回ったことで米国での利上げ局面が終了するとの見方が広がったこと。
- （下落）米国長期金利低下や日銀による政策修正観測が広がったことなどから円高ドル安が進行し、輸出関連株を中心に採算悪化が懸念されたこと。
- （上昇）能登半島地震を受け日銀による政策修正観測が後退したことなどによる円安ドル高の進行や、外国人投資家からの資金流入が増加したこと。

#### 2024年1月下旬～当作成期末：

- （上昇）自動車関連や半導体関連を中心に国内企業における市場予想を上回る決算や業績見通しが好感されたこと。
- （上昇）日銀の金融政策決定会合において当面は緩和的な金融環境が維持されるとの見方が広がったこと。
- （下落）米国の利下げ期待後退や中東情勢の緊迫化で投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年2回決算型]

[ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース] および [野村マネー マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース] の受益証券への投資比率は、当作成期首から2024年4月上旬にかけては、おおむね高位を維持しました。4月上旬以降は、信託終了に向けて資金化を図るため、[ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース] 受益証券への投資比率を段階的に引き下げました。[野村マネー マザーファンド] 受益証券は、4月中旬に全売却しました。

## [ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドー南アフリカランドコース]

### ・株式組入比率

株式組入比率（株価指数先物を含む）は、当作成期首から当クラスの償還まで、おおむね高位を維持しました。為替取引については、信託終了決定後、円売り南アフリカランド買いのポジションを解消しました。

### ・当作成期中の主な動き

- (1) 株式への投資にあたっては、世界の経済成長から恩恵を受ける日本企業の中から、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式（日本ブランド株）に投資しました。
- (2) 業種配分は、電気機器、化学、輸送用機器、小売業、医薬品などを中心に投資しました。
- (3) 銘柄別では、第一三共、スズキ、日立製作所、デンソー、東京海上ホールディングスなどに投資しました。

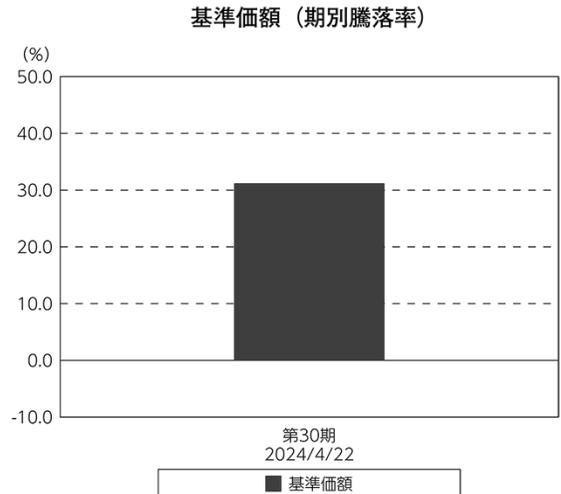
## [野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎分配金

償還のため分配は行ないませんでした。

## ◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から償還時55,089.65円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり270円となりました。

設定来からの基準価額の主な変動要因は下記の通りとなります。

#### 第1期から第29期（2009年4月23日～2023年10月23日）

- ・ 実質的に投資している国内株式（日本ブランド株）からのインカムゲイン（配当収入）
- ・ 実質的に投資している国内株式（日本ブランド株）からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
- ・ 為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）
- ・ 円／南アフリカランドの為替変動

### 第30期（2023年10月24日～2024年4月22日）

- ・ 実質的に投資している国内株式（日本ブランド株）からのインカムゲイン（配当収入）
- ・ 実質的に投資している国内株式（日本ブランド株）からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
- ・ 為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）
- ・ 円／南アフリカランドの為替変動

なお、信託終了に向けて段階的に資金化を行なったため、上記要因による基準価額の動きは徐々に小さくなりました。

#### ※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年10月24日～2024年4月22日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 225	% 0.481	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 38 ）	（ 0.082 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	（ 179 ）	（ 0.383 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	（ 8 ）	（ 0.016 ）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.001 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	226	0.482	
期中の平均基準価額は、46,755円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

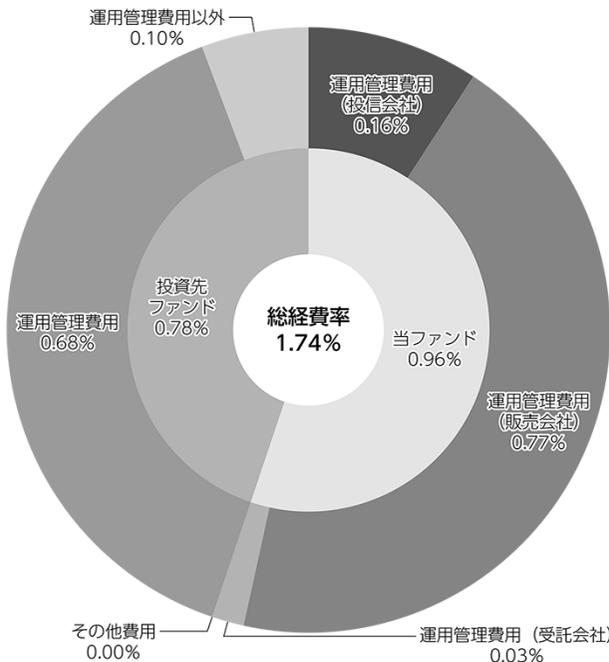
\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.74
①当ファンドの費用の比率	0.96
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年10月24日～2024年4月22日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ムラマシ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド-南アフリカランドコース	8	千円 111	158 (865)	千円 2,316 (15,092)

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
野村マネー マザーファンド		千口 -	千円 -	千口 98	千円 100

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年10月24日～2024年4月22日)

## 利害関係人との取引状況

<野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年2回決算型>  
該当事項はございません。

&lt;野村マネー マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
公社債	百万円 791	百万円 10	% 1.3	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2024年4月22日現在)

2024年4月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド-南アフリカランドコース			1,015
合	計		1,015

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
野村マネー マザーファンド			98

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2024年4月22日現在)

項	目	償還時	
		評価額	比率
コール・ローン等、その他		15,468	100.0
投資信託財産総額		15,468	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2024年4月22日現在）

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	15,468,153	
コール・ローン等	15,468,121	
未収利息	32	
(B) 負債	69,869	
未払信託報酬	69,673	
その他未払費用	196	
(C) 純資産総額(A-B)	15,398,284	
元本	2,795,132	
償還差益金	12,603,152	
(D) 受益権総口数	2,795,132口	
1万口当たり償還価額(C/D)	55,089円65銭	

(注) 期首元本額は3,313,565円、期中追加設定元本額は656円、期中一部解約元本額は519,089円、1口当たり純資産額は5.508965円です。

## ○損益の状況（2023年10月24日～2024年4月22日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	218,961	
受取配当金	218,795	
受取利息	167	
支払利息	△ 1	
(B) 有価証券売買損益	3,501,254	
売買益	3,689,302	
売買損	△ 188,048	
(C) 信託報酬等	△ 69,869	
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,650,346	
(E) 前期繰越損益金	5,205,711	
(F) 追加信託差損益金	3,747,095	
(配当等相当額)	( 6,249,682)	
(売買損益相当額)	(△ 2,502,587)	
償還差益金(D+E+F)	12,603,152	

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年4月23日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年4月22日		資産総額	15,468,153円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	69,869円
受益権口数	861,147,415口	2,795,132口	△858,352,283口	純資産総額	15,398,284円
元本額	861,147,415円	2,795,132円	△858,352,283円	受益権口数	2,795,132口
				1万円当たり償還金	55,089円65銭
最近10年の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第10期	99,386,478円	145,177,897円	14,607円	10円	0.1%
第11期	45,408,273	71,971,586	15,850	10	0.1
第12期	18,318,460	39,873,098	21,767	10	0.1
第13期	27,481,149	52,427,447	19,078	10	0.1
第14期	29,295,617	45,620,734	15,573	10	0.1
第15期	26,085,618	40,466,700	15,513	10	0.1
第16期	34,983,198	66,681,742	19,061	10	0.1
第17期	46,763,095	106,719,902	22,821	10	0.1
第18期	21,425,789	56,104,277	26,185	10	0.1
第19期	19,576,194	44,318,323	22,639	10	0.1
第20期	17,311,178	39,574,877	22,861	10	0.1
第21期	14,825,406	32,796,247	22,122	10	0.1
第22期	14,323,859	22,623,056	15,794	10	0.1
第23期	11,866,883	26,406,203	22,252	10	0.1
第24期	3,817,090	12,229,427	32,039	10	0.1
第25期	3,789,873	13,643,594	36,000	10	0.1
第26期	3,772,129	14,177,497	37,585	10	0.1
第27期	3,465,773	12,421,264	35,840	10	0.1
第28期	3,315,546	11,912,152	35,928	10	0.1
第29期	3,313,565	13,920,518	42,011	10	0.1

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	55,089円65銭
----------------	------------

## ○お知らせ

該当事項はございません。